

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------------------|-------------|---|---|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | ◎ | 家電量販店（営業担当） | ・全体的なインフレ傾向で単価が上昇するとみている。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | ・今後3か月は、正月などもあり、人流が全体的に良くなる。特に観光業はインバウンドにより良くなるとみている。街の中では飲食業が良くなっていくが、物販は厳しい状況が続くとみている。 |
| | ○ | 一般小売店〔酒〕（店長） | ・今後はどの業態でも人手不足が続くとみられるため、雇用問題、所得制限の見直しを早急に行う必要があるとみている。 |
| | ○ | 百貨店（経営担当） | ・バレンタインデーやホワイトデーのギフト需要が増加するとみている。 |
| | ○ | 乗用車販売店（経理担当） | ・年間を通して売上の伸びる時期であるため、売上が増加するとみている。 |
| | ○ | 観光型ホテル（企画担当） | ・12月の販売室数が前年比30%増加なのに対し、翌年3月の予約室数は前年比78%増加と、プラス幅が大きくなっている。 |
| | □ | コンビニ（店長） | ・来客数は前年と同様に推移している。現状では、景気変動する要因が見当たらない。 |
| | □ | コンビニ（経営企画担当） | ・客足が活発で好調に推移しており、今後も継続するとみているが、1月以降は値上げが多く控えているため、購買意欲低下への懸念がある。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | ・年末ということもあり、年間を通して1番売上を見込んでいたが、売上は減少したままで、客の購買意欲は余りみられない。今のところ景気は悪い状態とみている。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | ・物価高騰や円安などの不景気の要因に変化がなければ、景気が悪化する可能性もあるとみている。 |
| | □ | 一般レストラン（代表者） | ・1～2月は人流が停滞することを懸念している。 |
| | □ | 旅行代理店（マネージャー） | ・ホテルや航空運賃といった旅行商材も高騰しており、重要性が低い出張が日帰りに切り替わるなど旅費を圧縮する会社が増えている。ただし、商材が高騰していても一定数の需要はあるため、売上の的には変わらない。 |
| | □ | 通信会社（営業担当） | ・例年では2～3月は学生の需要により景気が上向くが、物価上昇が続くと現状は変わらない見込みである。 |
| | □ | その他サービス〔レンタカー〕（営業） | ・先行きの受注状況は前年比で好調に推移している。特に個人及び法人は動きが活発で順調に伸びている。 |
| | □ | 住宅販売会社（役員） | ・新築物件の価格上昇と住宅金利の先高感もあり顧客の慎重姿勢は変わらないとみている。 |
| | ▲ | スーパー（企画担当） | ・国による電気・ガス料金の支援が、来年の1～3月まで実施されると発表されたが、12月19日からガソリン代への補助金減額により値上がりし、今後も上昇する可能性があることから、2～3か月先の身の回りの景気はやや悪くなるとみている。 |
| | ▲ | コンビニ（副店長） | ・物価高騰などの影響により、多くの国民が貧窮するなか、ガソリン補助金が縮小されたことで、家庭や職場の状況が悪くなるとみている。 |
| | ▲ | その他専門店〔陶器〕（製造） | ・例年どおりだと正月休みの後は、観光需要が落ち着くとみている。 |
| | ▲ | その他飲食店〔バー〕（経営者） | ・例年のように年末に売上が伸びなかった飲食店は、売上が下がる1～2月に苦戦するとみている。 |
| ▲ | 住宅販売会社（取締役） | ・地価や物価高騰により、特に戸建ての注文住宅の建築需要が大きく冷え込んでいるとみている。ストックに余力があるが、来年下半年は大きな危機感を持っている。 | |
| × | — | — | |
| 企業 動向 関連 (沖縄) | ◎ | — | — |
| | ○ | 窯業土石業（取締役） | ・公共、民間工事の見積依頼が増加しており、受注増加が見込まれるため、売上回復を期待している。 |
| | □ | 広告代理店（営業担当） | ・県内企業の販売促進投資は、物価や人件費の上昇の影響で、消極的な状況が続いている。 |
| | □ | 会計事務所（所長） | ・諸外国の政治情勢により、為替変動を通じた物価への影響が不透明である。 |
| | ▲ | — | — |

| | × | — | — |
|----------|---|----------------|---|
| 雇用 関連 | ◎ | — | — |
| (沖縄) | ○ | 求人情報誌製作会社（営業） | ・年末年始は求人数が最も多くなる時期であるため、求人数の増加を見込んでいる。12月末と3月末は学生の卒業や退職、転職を考慮する時期であることが影響するとみている。 |
| | ○ | 学校〔専門学校〕（就職担当） | ・2026年卒の採用に向け、多くの学内説明会の申込みを受けている。採用数は前年ベースを公表する企業が多いが、新規企業からの求人も受けるため、前年と比べると増加するとみている。 |
| | □ | 人材派遣会社（総務担当） | ・年末に向けた求職者の動きが鈍い。 |
| | □ | 職業安定所（職員） | ・新規求人数は減少傾向にあり、企業より景気が上向くような声が聞こえてこない。 |
| | □ | 学校〔大学〕（就職支援担当） | ・物価高騰は続くとみている。 |
| | ▲ | — | — |
| | × | — | — |